

法話 学はまねぶ

少しでも仏さまの真似をして

佐竹 真城 師

本願寺派総合研究所研究員

私を映す鏡

私には、まもなく3歳になる娘がおります。2歳の中頃に保育園へ通い出してから、どんな言葉が出てくるようになり、言葉での意思の疎通が出来るようになってきました。「パパ、ぎゅーして」とか「パパ、だーいすき」などと言われたときには、もうメモメモです。

ある日、私が自室にこもって作業をしていると娘がやってきて、いつものように「パパ、ぎゅーして」とねだるのです。私は作業の締め切りも迫っていたことから、「いま忙しいから、また後でね」と言つてやり過ぎそうとしたのですが、娘は悲しそう顔をしながら、再度「パパ、ぎゅーして」とねだりました。それを聞いた私は「いま忙しいから出来ない！またあとでついでついでしてよ！」と、つい怒鳴ってしまったのです。すると、娘は泣きながら母親の元へ走っていききました。

実はこのやりとり、一度や二度ではありません。毎回、娘の悲しそうな顔と去っていくすがたを見て、「しまったなあ」と思うのですが、恥ずかしながらも同じ事を繰り返してしまいます。別の日、保育園へ行くための朝の準備をしているとき、「そろそろお着替えしようね」と娘に伝えると、「いやー！後でね！」との返答があり、一向に準備をしようとしません。私は時間に追われているイライラから、「後でねじゃない！早くしなさいって言ってるでしょ！」と娘を叱りつけたのでした。

このようなやりとりも、我が家の日常茶飯事ですが、冷静に考えてみると、娘は私のかわし方と真似しているだけなのです。このことに気がついたとき、娘を通して私の姿を見せつけられた、そんな気分になりました。まさに、娘は私を映す鏡であったのです。

鏡といえば、善導大師は『観経序分義』において、これ経教はこれを喩ふるに鏡の如しと述べておられます。

自分の物差し

娘を通して知らされた自身のすがたですが、それがよいすがたであるのか、悪いすがたであるのかは、受け止める人によつ

て大きく変わってきます。「よし、自分に似て素晴らしい人間になるに違いない」と感じるか、「なんと自分勝手であったのか」と感じるかで、受け止める方に大きな差がありますね。

私たちは、種々の判断に迫られたとき、「自分の物差し」、すなわち自己中心的なものの見方をしてしまいます。そして、それぞれが自分の基準を振りかざした結果、相容れないものとは争いを起こし、苦しみ・悩みを積もらせていきます。

しかし、人や状況でコロコロ変わってしまうものは真実とは呼べません。仏教に身を置いたとき、真実はあくまでも仏さまの教えです。言い換えれば、お経や、お経に基づいた祖師方の教えが「物差し」となるわけです。

私のすがたを仏法に照らし合わせてみると、自分中心に考えることしか出来ない愚かなすがたであることに気づかされます。最初の話しでは、娘は自分の欲求を満たすため、私の都合などおかまいなしに「ぎゅーして」と伝え、私は娘の気持ちを慮ることなく、自分の都合を優先して「後でね」と答えています。一方で「着替えようね」「早くしなさい」と私の都合を

娘に押しつけています。娘は自分がしたくないので「後でね」と答えています。

どちらの出来事も、私と娘がそれぞれに「自分」を中心に考えているが故に起こった衝突なのです。私たちはこのような「自分が」という我執から離れることが出来ません。ましてや、自分中心に考える親を見ている2歳の娘が自分中心であるのは当然のことです。

仏教には、素晴らしい徳をもつ仏様をはじめ、その導きにしたがって精進された多くの先人たちとの出遭いがあり、様々な面で沢山の学びがあります。

殊に阿弥陀様は、私のことを一番に願ひ、優しく見守ってくださる仏様であると聞かせていただいております。そして、昔から、そのすがたを親に重ねて味わわれてきました。

子は親を見て育つと言われます。古くは「学ぶ」を「まねぶ」と読んだそうですが、私が阿弥陀さまを少しでも真似させていただいたならば、きっと娘もまねしてくれるでしょう。それが娘の健やかな成長につながると思います。今後学びを深めてまいります。

ラジオ放送のご案内 〜築地本願寺の時間〜

築地本願寺提供のラジオ番組が放送されています。関東広域圏で、毎週日曜日の朝、10分間の仏教にまつわるトーク番組です。如何でしょうか

文化放送 (AM 1134kHz)

日曜日 午前5時50分から6時

住職より

毎年この時期になると、テレビなどで特集が沢山放送され、嫌でも震災のことが思い出されます。

そして、「備え」について再考しています。また「帰宅難民」と言われましたが、遠い家路を列をなして、歩いて帰った人が沢山いらつしやいました。

いざと言うときに、お寺の建物が大丈夫とは言い切れませんが、震災の後に作った建物ですので、強度は高いです。もし、お寺の近くで困ったときには、お立ち寄りください。何が出来るか分かりませんが、少なくとも、靴を脱いで休むことは出来ます。どうぞ、お寺を頼ってください。

○ちよつと一服

先日、ザデストロイヤーさんの記事がありました。あのころは、なぜか家族全員でプロレスを見て、おばあさんまでアブドラザ ブッチャーを知っている不思議な時代でした。ザデストロイヤーさんは、バラエティー番組にも出演されて多くの人に愛されていました。左の写真は20年ほど前に麻布十番のお祭り撮った写真です。思わず少年に返ってしまった一枚。堅い文章ばかりでしたので、ちよつと休憩のつもりで載せさせていただきました。



彼岸会法要のご案内

彼岸とは、仏さまのさとりの世界、お浄土のことです。様々な煩惱に生きる私たちの生活の中で、夕日が真西、お浄土の方向に沈む春分の日を中心とした1週間、彼岸(お浄土)

を思いながらお勤めする法要です。
教誓寺彼岸会法要

3月21日(木) 春分の日

午後2時より

ご都合のつく方は、

時間に合わせて

お参り下さい。

○ご一緒にお経を上げて

お勤めいたしますよう

***お彼岸の期間は**

春分の日の前三日間と

後の三日間の七日間です。

今年 は

3月18日(月)〜24日(日)

はなまつり

4月8日は、お釈迦さまのお誕生日です。お釈迦さまが母様のマヤー様からお生まれになったときには、辺り一面に花が咲き、甘露の雨が降り、そして、お釈迦さまは数歩あるき天と地を指さして、「天上天下唯我独尊」(この世界の中で、すべての人はみな尊い)とおっしゃったと伝えられています。

世界の仏教徒は、この日をお祝いします(はなまつり・灌仏会・仏生会)。タイ仏教の新年行事で、水をかけ合うのもお釈迦さまのお誕生祝いです。

日本では、花で飾った小さな

お堂(花御堂)、にお釈迦さまの像(誕生仏)を安置して、お釈迦様に甘茶をかけてお祝いします。



キリスト教の祝日を、あんなに盛大にお祝いするので、から、「はなまつり」も盛大にお祝いしましょう。

この花御堂は住職が作って、坊守が飾りました。仏様は東大寺の国宝「釈迦誕生仏」の写しです。(海洋堂製)

維持(会)費

進納のお願い

教誓寺総代・世話人一同

平成三十一年度の教誓寺「維持費」のご進納をお願いいたします。詳しくは、同封の別紙「教誓寺維持費(護持会費)納入のお願い」をご参照下さい。

浄土真宗本願寺派 圓生山 教誓寺

108-0073

東京都港区三田 一―一十二―一

〇三(四五)二二九

kyouseiji@is4.so-net.ne.jp